

# 「出産だけでなく産前・産後、多くの女性をサポートしたい」

○：「医療の専門知識を切だと常に思っています」。いう関係のほかに、一女性いち持つ医師としてだけでなく、診察対象が全て女性であるとして寄り添うことができ

く、一人の人間として誠実に患者様と接することが大。産婦人科医になることを決めたのも「医師と患者様とす。現在、ふれあい横浜ホ

## この「人」に聞く



小林 藍子 (こばやし あいこ)

ふれあい横浜ホスピタル  
【産婦人科 部長】

医学博士 臨床研修指導医  
日本産婦人科学会 産婦人科専門医  
日本周産期・新生児医学会 専門医 (母体・胎児)

スピタルで産婦人科部長を 務め、毎週月曜日午後・水曜日午前の外来や病棟診察のほか、科内の連絡調整、方針などの最終決定を担っています。

に寄り添う診療が大切なと、日々実感しています」。

○：分娩だけでなく、出産前後のケアにも精神的な同院。【ファミリークラス / 毎週土曜日】【マタニティ ヨガ / 毎週金曜日】【母乳 外来 / 毎週水・土曜日】の

○：地元・横浜出身で「当院の産婦人科病棟の個室からは関内らしい景色が眺められます。4人部屋は1床当たりのスペースが広く、病棟スタッフは全員助産師です」。入院している産婦人科の全患者を、カルテ上だけでなく顔と名前、病状を常に実際の目で見て把握しています。「ご出産という喜ばしい内容でご入院されている方もいれば、別部屋には切迫流早産でベッドで休まれている方もいらっしゃいます。外来では、子宮筋腫などの治療で通院を続けている方もいます。心

産婦人科の助産師です。綿密な打ち合わせや個別の対応もできるので、医師としての安心ですし、おすすめで「小林医師自身も2児の母。出産後は家に籠りがちになってしまうことを懸念し、「産後のママが外へ出て適切な運動をするためにも、ベビーマッサージや産後ヨガの開催を考えています。しっかりと続けた語調で続けました。